長洲町立長洲小学校　校長便り　No.５０

みんなの居場所

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、諺、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和４年１１月１８日(金)

子供達が生きる未来社会①

超スマート社会「Society 5.0」って知っていますか？　狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く、新たな社会を指すものです。

わかりやすく言い換えると、情報が溢れている現在（Society 4.0）の課題に対して IoT（Internet of Things：モノのインターネット）や AI（Artificial Intelligence：人工知能）などの最新テクノロジーを活用した便利な社会が「Society 5.0」というわけです。

現在（Society 4.0）は、必要な情報を見つけて分析・共有することが困難な状況です。さらに少子高齢化や地方の過疎化などで人的負担も大きくなっています。その負担を軽減する方法として日本政府は、IoT や AI、クラウド、ドローン、自動走行車・無人ロボットなどの活用を推進。これら最新テクノロジーの活用により、最終的には少子高齢化・地域格差・貧富の差などの課題を解決し、一人一人が快適に暮らせる社会の実現を目指しています。これが真の「Society 5.0」の目的です。

こんな社会を生きていくためにはどのような力が必要か考えてみたことありますか？　私には関係ないなんて言っているとダメな時代なのです。

【雑感】「自分の為よりも人の為にやった事が自分の為になるものです」

先日、あるお寺に行くことがありました。そこの掲示板に「自分の為よりも人の為にやった事が自分の為になるものです」と半紙に書かれた文字が貼ってありました。私は書道を嗜む関係で、そういう掲示物には目がいってしまいます。私の場合、自分がそうありたいとか、憧れや理想を文字として表現することが多く、このお寺で見たこの言葉は、自分もこうありたいという視点から魅かれた言葉です。

実は私、この言葉に惹かれたのはこれまでの自分が、そうではなかったことに由来しています。何かやるにつけ、「自分の為に」という視点が根本にあり、何というか「腹黒い」というか「がめつい」というか、妙な気配りをして実はそれが自分の為だけにやっているという、非常にかっこ悪い自分がそこにいました。最近やっと、その様な状態から抜け出しつつあります。学校が「みんなの居場所」となるためには何をすればいいのか？自分には何ができるか？という視点が持てるようになりました。そう言えば、私は人に「字を書いて！」と頼まれることが多く、「そんなのお安い御用」的に引き受けてきましたが、それは私にとっては別に大したことではありませんでしたので、自分の為とか大変な仕事を引き受けたなどとは思っておりませんでした。しかし、これが後々良い影響を私に与えてくれたように思います。あちらこちらで多くの人にお声をかけて頂き、知らない人からも揮毫依頼が来るようになったのです。その出会いは新しい出会いを呼び、私に多くの人との繋がりを与えてくれました。「情けは人の為ならず」、このような経験があったから、「自分の為よりも人の為にやった事が自分の為になるものです」という言葉が私の心に、「ストン」と落ちたのだと思います。私は経験的に「人の為」にやった事が「自分の為」になることを知りました。読者の皆様はこのような経験はありませんか？　自己中心的が現代社会に生きる私たちに最も必要な視点のように思えてなりません。

シリーズ「自分を語る」#５０

平成7年度末の定期異動で、私は玉名市立玉名町小学校に転勤になりました。上益城地区から荒尾・玉名地区への異動です。異動のことについては詳しいことを知らない年齢でしたので、あまり驚きもしませんでした。でも玉名というと私には縁もゆかりもない土地でしたので、希望と不安が交錯した気持ちでした。異動が決まると挨拶に伺うわけですが、その前に「ちょっと行ってみよう」ということで、夜、一人で行ってみました。近くまでは行くことができましたが、夜ということと道が狭いために探すのに時間がかかったのを覚えています。ようやく「玉名町小学校」にたどり着いたのは午後１０時頃でした。正門前に車を止めて、中を伺ってみました。小さな商店にあった自動販売機の灯りを頼りに正門周辺を見ると、白い柱が何本も立っています。何が書いてあるか目を凝らしました。

「平成〇〇年度熊本県教育委員会指定学力充実推進校」

「平成〇〇年度熊本県教育委員会指定フロンティアスクール」・・・

初めは意味が分からず、「ふ～ん、そうなんだ…」という印象でした。一言で言えば、「頑張んなさいよ!!　研究やってね。期待してるからね。」ということです。

私は玉名町小学校に9年間という長い時間勤務させて頂きましたが、この9年間のうち研究指定を受けなかった年はたったの2年だけで、私自身相当鍛えられた9年間でした。この時間が無かったらまともに教職について知ることができなかったかもしれません。この9年間のうち、熊本県教育委員会指定の「国語科」、「総合的な学習」、文部科学省指定の「体育科」等の研究をしました。決まったことなので、嫌でもやらなければならないことです。「どうせやるなら楽しみながらやろう。」という気持ちで取り組んだのを覚えています。今でも「あの頃はよく勉強したな。」と思います。

さて、玉名町小学校に挨拶に伺う日が来ました。

校長室に通されて、校長先生にご挨拶。

「ようこそ玉名町小学校へいらっしゃいました。どうぞ、お座りください。早速ですが担任やお仕事の希望はありますか。もし特に希望が無ければ、先生には5年生をお願いしたいと思っていますが、いかがでしょう？」

私は即答しました。

「是非お願いします。」

希望通りの学年の担任をさせて頂くことになり、意気揚々と家路に着いたことを思い出します。就任式、始業式、学級担任紹介、学級開きとつながっていく一連の流れをシュミレーションしながら数日を過ごしました。その頃の私は、実は結婚が決まっていて6月に結婚を控えていました。転任と結婚が重なり慌ただしく日々を過ごしていた頃です。（嘉島西小の3年間は激動の3年とお話しましたが、激動の3年の中で結婚が決まりました。）しかし、仕事に対して真摯さを忘れてはならないと常に考えていた頃でもあり、結婚のこまごました仕事は婚約者に任せ、私は玉名での出会いに向けて着々と準備を進めていきました。（つづく）

※　「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。（「みんなの居場所」への掲載の　可　・　不可　）